

MONTANA

GUIDEBOOK 





MONTANA

State Capital: Helena
 Montana Population: 998,199*
 *2011 U.S. Census Estimate

Land Area: 145,392 sq. miles
 Water Area: 1,746 sq. miles
 Total Area: 147,138 sq. miles

CITY/TOWN	POPULATION	HIGHWAYS	MAP SYMBOLS AND OTHER FEATURES
○	Under 50	Interstate Route	State Boundary
⊙	50-1,000	Principal Highways	Major Airports
●	1,000-2,500	Other Highways	Secondary Airports
●	2,500-10,000	ROUTE MARKERS	Amtrak Line
●	10,000-25,000	Interstate	Amtrak Station
●	Over 25,000	U.S. Route	
⊙	State Capital	State or Provincial Route	
		Other Route	

Map provided for general information only. Consult the Official Montana Highway Map for accurate and detailed information.

MONTANA

GUIDEBOOK

目次

ようこそモンタナへ	3
モンタナの各地域	6
トライバル・ネイションズ	8
西部で過ごす休暇	9
歴史と文化	10
州立公園	12
モンタナの冬	13
グレーシャー国立公園エリア	14
イエローストーン国立公園エリア	16
トラベラー・サービス	18




Front Cover: Glacier National Park (Bob Webster) **Back Cover:** Elkhorn Ranch (Donnie Sexton)
Above: Canoe launch on the Upper Missouri National Wild and Scenic River (Donnie Sexton)


モンタナのオンライン情報

Online www.visitmt.com

Mobile m.visitmt.com

 Get Lost™ in Montana Magazine (iPad app) <http://magazine.getlostmt.com>
Mobile m.getlostmt.com
Online www.getlostmt.com

 Facebook www.facebook.com/visitmontana

 Twitter www.twitter.com/visitmontana

モンタナ州政府駐日代表事務所
〒862-0950 熊本県
熊本市中央区水前寺6-18-1
Tel 096-385-0782
Fax 096-381-3343
E-mail: info@bigskyjapan.com
www.bigskyjapan.com

ようこそモンタナへ MONTANA

モンタナは他に類を見ない場所です。モンタナでは、壮大な自然をゆっくりと満喫することができます。3,800万ヘクタールを超える面積に100万人が住むモンタナは、米国でも指折りの景観と野生生物の宝庫であり、自動車や人間に踏み荒らされていない手つかずの自然が残る土地なのです。モンタナには2つの国立公園、24の山脈、数百万ヘクタールに及ぶ公有地、広大な自然保護区域があり、探索スポットには事欠きません。昼間には素晴らしい大自然を楽しみ、夜にはホスピタリティあふれる小さな町でゆったりとくつろぐことができます。

釣りを楽しめる川や山々、広大に開けた土地で知られるモンタナですが、その胸躍るような開拓の歴史やさまざまな文化の融合、舞台芸術の伝統は、すべてモンタナの景観や住民たちのドラマから生まれたものです。

そびえ立つ山並みを誇るグレイシャー国立公園 (Glacier National Park) や、地熱特性を持つイエローストーン国立公園 (Yellowstone National Park) には世界中から観光客が集まります。しかしそれ以外にも、他では見られないような美しい自然をモンタナ各地で楽しむことができますので、ぜひ訪ねてみてください。モンタナへの旅は一生忘れられないような思い出となることでしょう。



Eastern Montana (Lynn Donaldson)



Middle Fork of the Flathead River (Donnie Sexton)

モンタナの住民のほとんどは、いくつかの小都市で暮らしています。ですが、これらの町は驚くほど洗練されていて、美しい環境に魅せられたさまざまな芸術家や作家、音楽家、冒険家たちが居を構えています。モンタナの各都市を結ぶハイウェイに沿って点在する小さな農村にも、独自の魅力があります。そこでは穏やかな暮らしが営まれています。ロデオや地域のフェスティバルといった伝統行事も活発に行われています。

人口規模の大小を問わず、モンタナの町は訪れた人を真のホスピタリティとおいしい料理で迎えてくれます。モンタナの住民は、自身の営む豊かな暮らしを分かち合うことに意欲的なのです。マディソン川 (Madison River) での釣りや古代壁画が残る洞窟の探検、粉雪に覆われた山腹でのそり遊びの他、地元産の肉を使ったビーフステーキを楽しむこともできます。

モンタナの景観や地元文化は変化に富んでおり、思う存分楽しむために、できるだけ多くの地域を訪ねられるよう細かくスケジュールを組みたくてしまいます。どの地域も見事な景観、興味深い歴史やレクリエーションの他、それぞれの名物料理で訪れる者を迎えてくれます。

モンタナは四季を通じて楽しめる場所です。夏にはフェスティバルやハイキング、バックパッキング、ウォータースポーツなど、さまざまな体験ができます。秋には鮮やかな黄色に彩られたポプラの木と太陽の輝く空が、フライフィッシングやデイハイク、景観を眺めながらのドライブといったアクティビティをさらに楽しいものにしてくれるでしょう。冬には山スキーやクロスカントリー、氷結湖、スノーモービル、アイススケートが楽しめます。雪解けの春には急流でのラフティングやカヤックの他、フィッシング愛好家には春のマッチング・ザ・ハッチ、活動派の方にはハイキングをお勧めします。1年を通じて、アウトドア活動以外にも歴史あるホテルや博物館、アットホームなカフェ、ゆっくり休める温泉などをお楽しみ頂けます。

全米第4位の面積を誇るモンタナは、さまざまな探検を体験できる巨大なプレイグラウンドです。モンタナでは州を6つのツーリズム地域に分け、わかりやすくご案内しています。どの地域も美しく個性的です。次項から詳細についてご説明します。



Philipsburg (Donnie Sexton)



モンタナ州

- + 面積: 38,108,600ヘクタール (全米第4位)
- + 1889年11月8日に41番目の州として認定
- + 人口: 998,199人
- + 州名の由来: 「山岳地」を意味するラテン語 mountainous
- + 州鳥: ニシマキバドリ
- + 州花: ビタールート
- + 州木: ボンデローサマツ
- + 国立公園: 2カ所 (イエローストーン、グレーシャー)
- + グレートフォールズ (Great Falls) のロー川 (Roe River) は世界最短の川
- + モンタナの最高峰はベアトゥース山脈 (Beartooth Range) のグラニットピーク (Granite Peak) (標高3,901メートル)
- + レッドロック湖国立野生動物保護区 (Red Rock Lakes National Wildlife Refuge) に生息するナキハクチョウは、体重が11キロもある北米最大の水鳥。生涯つがいを守り、寿命は30年に及びます。
- + 西はアイダホ州 (Idaho)、南はワイオミング州 (Wyoming)、北はノースダコタ州 (North Dakota)、東はサウスダコタ州 (South Dakota) に隣接し、北端はカナダとの国境に接しています。
- + メノウとサファイアが州の宝石に定められています。
- + 冬に暖かい風を感じたら、それは「チヌーク風」という気象現象です。チヌーク風は寒い冬でも数分のうちに気温を10Cも上昇させ、30センチまで積もった雪を1日で溶かしてしまいます。ロマ (Loma) という町では、1972年1月15日にチヌーク風が氷点下47Cから9.4Cまで気温を上昇させ、24時間のうちで最大の気温変化を記録しています。
- + ロッキー山脈 (Rocky Mountains) の尾根に沿って大陸分水嶺がモンタナを貫いています。モンタナの山々は米国にとってきわめて重要な水源となっているのです。

モンタナに関する詳細はwww.visitmt.com/factsをご覧ください。

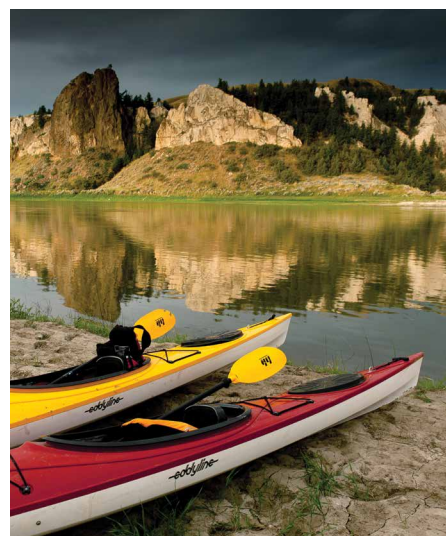
モンタナの各地域



Beargrass, Glacier National Park (Donnie Sexton)

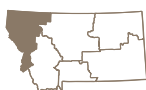


Nevada City (Donnie Sexton)



Missouri River (Donnie Sexton)

グレイシャーカントリー



グレイシャーカントリーは緑豊かな森林に覆われた山地で、美しい湖や高くそびえ立つ山岳パノラマの他、

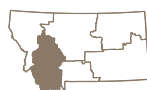
バイソンやクマといった野生動物の生息地が多数あります。壮大な絶景を楽しめるグレイシャー国立公園の周囲には、シーリー・スワン (Seeley-Swan) 地区やビタールート・バレー (Bitterroot Valley)、国立バイソン保護区 (National Bison Range) などの景観が広がっています。

米国西部最大の天然淡水湖があることで知られるフラットヘッド・バレー (Flathead Valley) の探索もお勧めです。湖岸沿いにある州立公園の一つを訪ねるもよし、ゴルフを楽しむもよし。9カ所の試合用ゴルフコースはすべて車で45分以内の場所にあります。楽しい1日を満喫した後は、近郊のカリスペル (Kalispell) で疲れを癒すとよいでしょう。

ミズーラ (Missoula) でも、手彫りの回転木馬に乗ったり、農産物マーケットを訪ねたり、グルメを楽しんだりと旅を満喫できます。ビッグフォーク (Bigfork) はおいしい料理やアート・ギャラリー、ゴルフがお勧めです。ハイキングとサイクリング、寿司とバイソン料理、地ビールとワインのどちらにしようか迷っても大丈夫。グレイシャーカントリーならすべてお楽しみ頂けます。

詳細はwww.glaciermt.com をご覧下さい。

サウスウエスト・モンタナ



ゴーストタウンの街歩きやサファイアの採掘、モンタナ刑務所の探索など、岩山の多いモンタナ南西部は、いた

るところで歴史を感じさせてくれる地域です。豪華な装飾を施されたマンション (大邸宅) のあるヘレナ (Helena)、ビュート (Butte) の採掘設備や「世界一豊かな丘」の名残、ゲーツ・オブ・ザ・マウンテンズ (Gates of the Mountains) の石灰岩の断崖沿いに残されたネイティブアメリカンのピクトグラフ (絵文字)、ルイス&クラーク大洞窟 (Lewis and Clark Caverns) がモンタナの歴史を伝えてくれるでしょう。

国立ビッグホール戦場 (Big Hole National Battlefield) のハイキングコースで歴史をたどってみる、あるいは当時のまま保存されている金鉱の町バンナック (Bannack) の街路を歩いてみるのもいいでしょう。1860年代のゴールドラッシュ時代にタイムスリップしたかのような気分を味わえるバージニア・シティ (Virginia City) も必見です。グラントコース・ランチ国立史跡 (Grant-Kohrs Ranch National Historic Site) では、モンタナ最大の牧畜王が残した歴史をたどることができます。この地域には温泉が多いので、ただゆっくりと体を休めるのもよいでしょう。

詳細はwww.southwestmt.com をご覧下さい。

セントラル・モンタナ



山脈と平野が出会うモンタナ中央部は、鮮やかな景観とコントラストが楽しめる地域です。グレートフォールズ

では、西部開拓時代を生き生きと描くカウボーイ芸術家として有名なチャールズ・M・ラッセル (Charles M. Russell) の作品をご覧ください。ミズーリ川 (Missouri River) 沿いのジャイアント・スプリングス州立公園 (Giant Springs State Park) に隣接するルイス&クラーク・ナショナル・ヒストリック・トレイル資料館 (Lewis and Clark National Historic Trail Interpretive Center) も訪れてみて下さい。

モンタナ最古のコミュニティであるフォート・ベントン (Fort Benton) では、蒸気船の埠頭を散歩しながらその長い歴史をたどることができます。この町の一部はかつて「西部で最も血にまみれた地区」と呼ばれていました。国定歴史建造物の指定も受けており、現在、発掘調査と再建築が行われているところです。ハーバー (Havre) では、町の歴史を再現した楽しい地下ツアー「ハーバー・ビニース・ザ・ストリート (Havre Beneath the Streets)」をお楽しみ頂けます。

町の喧騒から離れ、数日かけてアッパー・ミズーリ・ナショナル・ワイルド&シーニック・リバー (Upper Missouri National Wild and Scenic River) の川面をカヌーで旅するのもよいでしょう。

詳細はwww.centralmontana.com をご覧下さい。



Gallatin National Forest (Donnie Sexton)



Sage grouse (Tony Bynum)



Bighorn Canyon (Donnie Sexton)

イエローストーンカントリー



イエローストーンカントリーは「全米初のプレイグラウンド」と呼ばれ、イエローストーン国立公園入口が3

カ所あります。最初につくられたガーディナー (Gardiner) の北口は年中オープンしており、ルーズベルト・アーチはここに 있습니다。クーク・シティ (Cooke City) の北東口は素晴らしいアウトドア体験を楽しめるエリアで、米国有数の景観に恵まれたハイウェイの一つであるベアトゥース・オールアメリカン・ロード (Beartooth All-American Road) 沿いにあります。ウエスト・イエローストーン (West Yellowstone) の西口は、グリズリー&ウルフ・ディスカバリー・センター (Grizzly and Wolf Discovery Center) など、多くの名所が集まるエリアです。

ボーズマン (Bozeman) やリビングストン (Livingston)、ビッグ・ティンバー (Big Timber)、レッド・ロッジ (Red Lodge) など、イエローストーン国立公園周辺の町でも、アクティビティには事欠きません。歴史ファンの方なら、ルイス (Lewis) とクラーク (Clark) が探検した道のりをたどる博物館がたくさんありますので、その一つを訪ねてみてはいかがでしょうか。豊かに残されているネイティブアメリカンの歴史を探索するのも楽しいでしょう。

豪華なマウンテンロッジや米農務省林野部の運営するキャビン、観光牧場、ディスパ、世界有数のスキー場、急流でのラフティング、ハイキングやサイクリングなど、冒険好きにはたまらない体験をできるのがイエローストーンカントリーです。

詳細はwww.visityellowstonecountry.com をご覧下さい。

ミズーリリバーカントリー



ミズーリリバーカントリーは、米国本土48州の中でも、特に広大で手つかずの自然が残された景観の広が

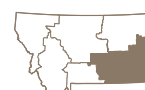
る最後の地域です。大草原で草を食むエルク、シカ、ブロンクホーン・アンテロープは、この地域に数多く存在する野生動物保護区以外の場所にも姿を現します。他ではめったに見ることのできない鳥が群れをなし、果てしなく続く大空を飛んでいます。

ホスピタリティあふれる小さな町の人々は、歴史を守ることにとても熱心です。ほとんどの町には歴史博物館があり、トラッパー・ランデブー (毛皮商人と猟師の交易集会) から開拓者の祝祭にいたるまで、さまざまなイベントが毎年開催されます。1930年代に建てられたフォートベック・ホテル (Fort Peck Hotel) に滞在し、フォートベック・シアター (Fort Peck Theatre) で上演されるサマー・ライブショーをお楽しみ下さい。ダイナソー・トレイル (Dinosaur Trail) 沿いのフォートベック・インタープリティブ・センター&ミュージアム (Fort Peck Interpretive Center and Museum) にもお立ち寄り下さい。世界最大の水締めアースダムであるフォートベック・ダム (Fort Peck Dam) を横断するドライブもお勧めです。

ミズーリリバーカントリー全域でハンティングやフィッシングが可能です。特にフォートベック (Fort Peck) では、アイスフィッシングと春シーズンの釣りの両方をお楽しみ頂けます。「ビッグスカイ」の下では、ネイティブアメリカンの祭であるパウワウ、ロデオ、キャトルドライブ (牛追い)、ワゴン・トレイン (乗馬ツアー)、牧場ステイが行われています。本格的なウエスタンバーから恐竜の化石にいたるまで、モンタナ北東部は昔と同じワイルドでのどかな姿を今も見せてくれるのです。

詳細はwww.missouririver.visitmt.com をご覧下さい。

サウスイースト・モンタナ



牧場やネイティブアメリカン居留地が大きな面積を占めるモンタナ南東部では、キャトルドライブ (牛追い) やロ

デオ、ワイルドホース・スタンピード (カウボーイの祭)、パウワウなどが盛大に行われます。モンタナ最大の都市ビルリクス (Billings) でも、1902年から営業を続けているステーキハウスやバーの壁にはハンティング大会の「ビッグ・ゲーム・トロフィー (獲物の頭部の剥製)」が飾られています。

ビルリクス近郊にはリトル・ビッグホーン戦場 (Little Bighorn Battlefield) やピクトグラフ・ケープ州立公園 (Pictograph Cave State Park) があります。マイルズ・シティ・バッキング・ホース・セール (Miles City Bucking Horse Sale) やレンジ・ライダーズ博物館 (Range Riders Museum) では、カウボーイの伝統を学ぶことができます。ですが、モンタナ南東部を満喫するには、やはりマウンテンバイクでのサイクリングやハンティング、ヘラチョウザメ釣り、乗馬、メノウの探掘、あるいはマコシカ州立公園 (Makoshika State Park) の奇岩石近くやカスター国有林 (Custer National Forest) にあるクロスカントリー・スキー場がお勧めです。クロウ・フェア&ロデオ、牧場ステイも良い思い出になるでしょう。

ドラマティックな高原、セージに覆われた丘や岩山だらけの景観は、ハリウッド映画の西部劇を思い起こさせます。高低差600メートルに及ぶビッグホーン峡谷やポンペイズ・ピラー国立史跡 (Pompeys Pillar)、メディスン・ロックス州立公園 (Medicine Rocks State Park) 以外にも、見どころはたくさんあります。

詳細はwww.southeastmontana.com をご覧下さい。

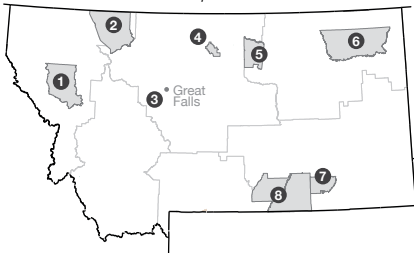
トライバル・ネイションズ

モンタナが「ビッグスカイ」の名で知られるようになるずっと以前から、インディアンたちは岩山が多くきわめて豊かで美しいこの場所を「ホーム」と呼んでいました。モンタナには7つのインディアン居住区があり、プライドや名誉、伝統に満ちた幾千もの感動的な物語があなたを待っています。トライブ（部族）の居住区はモンタナ州全域にありますので、州立または国立公園を訪れば、必ず居住区のすぐ近くまで行けるでしょう。居住区にはそれぞれ独自の地形や見どころ、ライフスタイルがあります。

モンタナのトライバル・ネイションズを訪れて、その貴重な歴史や文化を吸収することは、一生に一度の経験となるでしょう。トライブの人々はパウワウや歴史的な行事の再現を通じて他には見られない独自の文化を守っており、受け継がれた遺産を快く分かち合ってくれます。また大切に守られてきた工芸品の見事な宝庫や、色鮮やかなコンテンポラリー・アートのギャラリーもあり、現代まで進化と成長を続けてきたネイティブアメリカンのスピリットを表現した作品を鑑賞することができます。

モンタナのトライバル・ネイションズ

1. Flathead Indian Reservation
2. Blackfeet Indian Reservation



3. Little Shell
4. Rocky Boy's Indian Reservation
5. Fort Belknap Indian Reservation
6. Fort Peck Indian Reservation
7. Northern Cheyenne Indian Reservation
8. Crow Indian Reservation



Crow Fair (Donnie Sexton)

参考資料として、www.visitmt.com/montana-storiesで下記のビデオ映像をご覧ください。

+ クロウ・インディアン居住区で生まれ育ったネイティブアメリカンのコンテンポラリー・アーティスト、ケヴィン・レッド・スター (Kevin Red Star)

+ ブラックフィート (Blackfeet) 族の作家、ダレル・キップ (Darrell Kipp)



Blackfeet Indian Reservation (Donnie Sexton)

パウワウや祝祭では、世代を超えて受け継がれてきたトライブの歌を聴き、激しく奏でられるドラムの高揚感を味わうことができます。小さな子供から栄誉ある年長者まで、色とりどりの正装に身を包み勢揃いしたネイティブアメリカンのダンサーたちには、目を奪われてしまうでしょう。リトル・ビッグホーン戦場国立史跡 (Little Bighorn Battlefield National Monument) の博物館と資料館では、1876年にインディアンがカスター (Custer) 將軍率いる第7騎兵隊との戦いに勝利したこの地をパークレンジャーが案内してくれます。遊歩道にはこの戦いについて書かれた案内板が設置されています。チーフ・プレンティ・クーブ州立公園 (Chief Plenty Coups State Park) では、クロウ (Crow) 族の最後の酋長が平和と友情の精神で国に寄贈した場所に立つことができます。

モンタナのトライバル・ネイションズや当地で楽しめるイベント、アトラクションについての詳細は、公式サイトwww.indiannations.visitmt.comをご覧ください。

西部で過ごす休暇

モンタナには、アメリカン・カウボーイが永遠に生き続ける世界が今も存在します。手綱を握り、モンタナのデュード・ランチ（観光牧場）を体験すれば、日々の悩みなど忘れてしまうでしょう。

モンタナの牧場生活は、1800年代末からほとんど変わっていません。牧場で働く人々は今も馬に乗って牛の世話をし、広大な空に鼓舞されたカウボーイたちは、キャンプファイアを囲みながらロマンティックなバラードを歌います。手つかずの自然が残る牧草地の上には、昔と同じビッグスカイが広がっています。訪問者を招き入れて牧場生活を実際に体験してもらうのは、昔から続いている伝統なのです。



Bannack State Park (Donnie Sexton)

牧場体験では、素朴なワーキング・ランチでもサービスの行き届いたリゾート・ランチでも、ガイド付きの乗馬を体験する機会は数多くあります。馬に乗るのが初めてだると、乗馬のベテランだると、経験は問われません。乗馬ツアーに参加すれば、馬はすぐに良き旅の相棒となってくれます。目の前に広がる山々や平原の壮大な景観をお楽しみ下さい。歩を進めるうちに、新しい友人ができたり、野生動物を間近で目撃したりすることもあるかもしれません。ワーキング・ランチやリゾート・ランチに戻りサドルを下りる頃には、おいしい食事がテーブルに用意されていることでしょう。

とはいえ、乗馬だけがカウボーイ体験ではありません。他にはどんな冒険ができるのでしょうか？ 溪流でのフライフィッシングや、広々とした山地でのピクニックはいかがでしょう。動物の追いかけ方や植物の見分け方を身につけることもできます。キャトルドライブ（牛追い）に参加するのもよいでしょう。ホースバックトリップに参加し原野を旅すれば、エルクの鳴き声を聞いたり、キャンプファイアの前で話をしたりする機会に恵まれるかもしれません。

牧場で過ごす休暇の一番良いところは、準備がまったく必要ないことです。牧場でのパケーションには食事、宿泊、アクティビティがすべて含まれており、朝起きてから寝るまでの間、すべてを手配してもらえます。

詳細はwww.visitmt.com/ranchをご覧ください。



Top: Cabin (Donnie Sexton)

Bottom: Riding horseback (Donnie Sexton)



Little Bighorn Battlefield National Monument (R. Valentine Atkinson)

歴史と文化

モンタナの歴史は、先史時代の巨大生物から始まります。モンタナ・ダイナソー・トレイル (Montana Dinosaur Trail) で恐竜の足跡をたどってみましょう。モンタナ州全域で、恐竜の展示品や化石、レプリカ、本物の骨格など、20世紀になされた発見の中でも特に素晴らしいものがご覧いただけます。

白人が西部に移動してくるまで、モンタナでは1万年の間インディアンが暮らしていました。モンタナの土地は、ブラックフィート (Blackfeet) 族、シャイアン (Cheyenne) 族、アシニボイン (Assiniboine) 族、グロヴァント (Gros Ventre) 族、フラットヘッド (Flathead) 族、アブサロケ (Absarokas) 族のものでした。それぞれの部族には独自の物語と文化があり、その歴史は大航海時代の数世紀前にまでさかのぼります。モンタナに住む部族の歴史は、博物館や史跡、記念碑に記録されています。

モンタナが米国領となるはるか以前、メリウェザー・ルイス (Meriwether Lewis) 陸軍大尉とウィリアム・クラーク (William Clark) 少尉は、太平洋と大西洋を結ぶ水路を探る旅に出発しました。探検隊の一行は道を切り開きながら未知の川や山道を進み、冒険談を生み出しました。探検隊の歩んだ道のりをたどるカヌーツアーや博物館、資料館では、物語と同じ冒険の旅を体験することができます。

モンタナ東部のネイティブアメリカン連合軍に敗れたジョージ・アームストロング・カスター (George Armstrong Custer) 司令官の物語は、モンタナの歴史に血塗られた一章を残しました。リトル・ビッグホーン戦場国立史跡は歴史ファンの間で絶大な人気を呼んでいますが、そこから感じられる不気味な雰囲気が魅力となっているようです。

1800年代にこの未踏の地に住み着いた移住者たちは、毛皮や金、銅といった贅沢品や広大な山並みに魅かれてやって来ました。スカンジナビア諸国やドイツ、ポーランド、ユーゴスラビア、フランス、イタリア、スペイン、アイルランド、英国といった多くの国々から移民たちが押し寄せたのです。ビュート (Butte) やアナコンダ (Anaconda)、レッド・ロッジ (Red Lodge) の他、グラスゴー (Glasgow) の「ハイライン」地域、ウルフ・ポイント (Wolf Point)、スコビー (Scobey)、プレンティウッド (Plentywood) といった移民街では、こうした人々の歴史をたどることができます。



An Ri Ra Festival (Donnie Sexton)

地元の音楽を愛する住民が暮らすモンタナは、音楽家にとっても魅力的な場所です。毎年夏になると、モンタナ州全域で数えきれないほど多くのフェスティバルが開催されます。モンタナの美しい景観を背景に行われる野外コンサートにびったりの、おいしい料理や飲み物、ダンスをお楽しみ頂けます。ビジュアル・アーツもモンタナの誇る歴史の一つです。夏には多くの町でアートウォークや職人フェアが開催され、澄んだ空気を楽しみながらモンタナの美しい自然から生まれた作品を鑑賞することができます。

とはいえ、モンタナの文化はコンサートホールや美術館の壁に飾られた芸術品だけではありません。ブーツとカウボーイハットが欠かせない昔ながらの口述史は、モンタナでしか見ることができないものです。暴れ牛の背にしがみついたカウボーイに声援を送る観光客たちは、8秒というタイムリミットの中で行われる勝負に一瞬で夢中になってしまいます。色彩豊かなパレードや地元のフェスティバルも独創的な伝統の一つで、郷土料理や地ビール、楽しいコスチュームを満喫できます。

人は見事な光景を目にすると、大きな刺激を受けるものです。ギャラリーやフェスティバル、パウワウ、パレードといったモンタナの文化を経験することによって、運が良ければ、あなたもモンタナからインスピレーションを得ることができるでしょう。

詳細はwww.visitmt.com/cultureをご覧ください。



Top: Miles City Bucking Horse Sale (Donnie Sexton)
Bottom: Grand Victorian Ball in Virginia City (Donnie Sexton)

州立公園

めったにできない体験をしてみたいと思いませんか? モンタナのハイウェイ沿いには、湖や珍しい景勝地、先史時代の遺跡、ゴースタウン、貴重な考古学の遺産、フィッシングの名所などがあります。モンタナには50カ所以上の州立公園があり、それぞれが違った魅力を見せてくれます。

ルイス&クラーク大洞窟はモンタナで初めて制定された最も有名な州立公園で、米国北西部で最大規模を誇る有名な石灰岩の洞窟がいくつもあります。洞窟探検ツアーは5月から9月まで実施されています。



Makoshika State Park (Victor Bjornberg)

バンナック州立公園 (Bannack State Park) には、モンタナ初の金鉱脈が発見された1862年当時の西部が生き生きと再現されています。ここは、モンタナの中でも特に保存状態の良いゴースタウンの一つです。イベント「バンナック・デイズ」で無法者たちの銃撃戦を体験したり、砂金さがしで運試しをしたりするのもよいでしょう。園内ツアーは5月中旬から9月中旬まで行われています。グラニット (Granite) とエルクホーン (Elkhorn) のゴースタウンも州立公園に認定されています。

ザ・ファースト・ピープルズ・バッファロー・ジャンプ州立公園 (The First Peoples Buffalo Jump State Park) は、おそらく北米最大のバイソン・クリフ・ジャンプの遺跡です。数百年にわたりネイティブアメリカンは、バッファローを1キロメートル以上も続くような長い断崖へ追い込んで、狩りをしていました。バッファロー、そしてこの強大な力を持つ動物を崇めたネイティブアメリカンへの敬意を表するため、現地の教育センターには文化を紹介する品々の展示や「語りの輪」開催の他、ブックストアなども設けられています。

「悪霊の地」を意味する名を持つマコシカ州立公園を訪れてみてください。現在このバッドランド (荒地) はモンタナ最大の州立公園となっています。深い渓谷や岩山の断崖、乾草の山、数百万年に及ぶ浸食が生み出した細く尖った山頂やキノコのような奇岩をお楽しみ頂けるでしょう。この州立公園には10種類を超える恐竜の化石があり、ビジターセンターには恐竜の骨格や各種資料が展示されています。

モンタナの州立公園でも、さまざまなウォーター・レクリエーションを満喫することができます。ホワイトフィッシュ湖 (Whitefish Lake) やサーモン湖 (Salmon Lake) の他、フラットヘッド湖 (Flathead Lake) やフォートペック湖 (Fort Peck Lake) にもさまざまなお勧めスポットがあります。

モンタナの州立公園 (stateparks.mt.gov) でキャンプやハイキング、フィッシング、スイミング、ボートクルーズや、世界有数の自然と文化の宝庫をお楽しみ下さい。キャンプ場、キャビン、ティピやユルト (テント) のオンライン予約はstateparks.mt.gov で受け付けています



Top: Lewis and Clark Caverns State Park (Donnie Sexton) Below: Giant Springs State Park (Donnie Sexton)

モンタナの冬

冬になるとモンタナの広大な景観は真っ白な雪に覆い尽くされ、息をのむほど幻想的な世界が広がります。モンタナでのスキー・滑降では壮大なスケール感を味わうことができます。雪に覆われた雄大な山でダイナミックなターンをお楽しみ下さい。リフトラインだけがぽつんと小さく感じられることでしょう。エレガントなアメニティが用意されたスキーリゾート、あるいはデュースのスキーエリアのどちらを選んでも、混雑のない多くの山々での探索やリフト頂上からの絶景を満喫できます。

「ビッグスカイ」でのスキーやスノーボードは最高に楽しい経験です。全米最大のスキー場であるサウスイースト・モンタナにあるビッグ・スカイ・リゾート&ムーンライト・ベイスン (Big Sky Resort-Moonlight Basin) では、2,225ヘクタール以上の面積を誇る混雑のないスキー場でスキーやスノーボードをすることができます。また1枚のリフト券で27基のリフトすべてに乗ることができます。この他にもスロープサイドでのロッジ宿泊や夜間またや家族向けのアクティビティも用意され、すぐ近くにはイエローストーン国立公園もあります。

1947年以来、モンタナ北西部にあるホワイトフィッシュ・マウンテン・リゾート (Whitefish Mountain Resort) は、楽しい時間、素敵なおもてなし、そして深く積もった雪を楽しむことができる、全米で大人気の旅行先の一つとなっています。「スキー・マガジン」誌の読者アンケートでも毎年上位にランクインしており、混雑のないゲレンデと気さくなスタッフ、深く積もったパウダースノーでその名を知られています。

モンタナにはスキー場が16カ所ありますが、ボーズマン近郊のブリッジャー・ボウル (Bridger Bowl) スキー場や、レッド・ロッジに程近いレッド・ロッジ・マウンテン・リゾート (Red Lodge Mountain Resort) もお勧めです。



Whitefish Mountain Resort (Chuck Haney)

数千ヘクタールに及ぶ公有地がクロスカントリー向けに開放されている他、多数のスキーリゾートでクロスカントリー用に整備されたプライベート・トレイルを利用できます。またモンタナには全米最長のスノーモービル用トレイルが数カ所あります。スノーモービルはレンタルすることもできますし、ガイド付きのスノーモービルツアーもあります。

スノーコーチ (雪上車) ツアーに参加して、ウエスト・イエローストーンからイエローストーン国立公園に入ると、冬の景観や野生動物の姿を見ることができ、記念撮影が楽しめます。スノーシューイングやスキー、ガイド付きのスノーモービルツアーでも、冬のイエローストーンを体感することができます。

さまざまな趣味や才能を持つ観光客のニーズに対応できるよう、グレイシャー国立公園ではガイド付きスノーシューイングツアーやクロスカントリーツアーを行っています。また、温泉にゆっくりつかったり、犬ぞりやそり遊びを楽しんだり、モンタナの冬をにぎやかに彩るウィンター・カーニバルに参加したりすることもできます。

詳細は www.wintermt.com をご覧下さい。



Top: Wintering elk (Donnie Sexton)

Middle: Dogsledding (Donnie Sexton)

Bottom: Snowmobiling (Donnie Sexton)

グレイシャー国立公園エリア

グレイシャー国立公園はカナダのウォータートン・レイク国立公園 (Waterton Lakes National Park) とつながっており、世界初の国際平和公園を形成しています。ロッキー山脈北部の中央に位置し、空まで届きそうな山々が連なるこの公園では、氷河を見下ろす岩山の断崖にしがみついたマウンテンゴートの姿が見られます。そびえ立つ滝からは、緑の岩間へと水が流れ落ちていきます。「ゴーイング・トゥ・ザ・サン・ロード (Going-to-the-Sun) (太陽への道)」の名にふさわしい2車線の道路からは、こうした光景をすべてご覧いただけます。

ゴーイング・トゥ・ザ・サン・ロード沿いには野生の花々が咲き誇り、カーブを曲がるたびに山々の美しい景観が目の前に広がります。車を止めて、氷河の川沿いを散策したり、湖でカヌーに乗ったりすることもできます。深く広大な渓谷を眺めていると、真下を飛んでいく鳥が見えるでしょう。通りがかったマウンテンゴートに道を譲ることもあるかもしれません。



Swiftcurrent Lake, Glacier National Park (Donnie Sexton)

焼き立てのパイを片手に休憩したり、ヒマラヤスギの森でピクニックを楽しんだりすることもできます。公園最大の湖の近くにあるレイク・マクドナルド・ロッジ (Lake McDonald Lodge) で、旅の疲れを癒しましょう。まるで鏡のようなスウィフトカレント湖 (Swiftcurrent Lake) が映し出す山々の頂きを眺めるのもよいでしょう。冒険派の方には、めったに見ることのできないグレイシャー国立公園の広大なバックカントリー (奥地) での探検ツアーをお勧めします。詳細はvisitmt.com/glacをご覧ください。

グレイシャー国立公園は年中営業していますが、ゴーイング・トゥ・ザ・サン・ロードや園内サービスの多くは5月中旬から9月中旬しか利用できません (気候により変更あり)。ゴーイング・トゥ・ザ・サン・ロードの現況について、事前に問い合わせられることをお勧めします。道路の除雪やトレイル、安全、シャトルバス、気象情報、入園バスの詳細はnps.gov/glacをご覧ください。

グレイシャー国立公園について

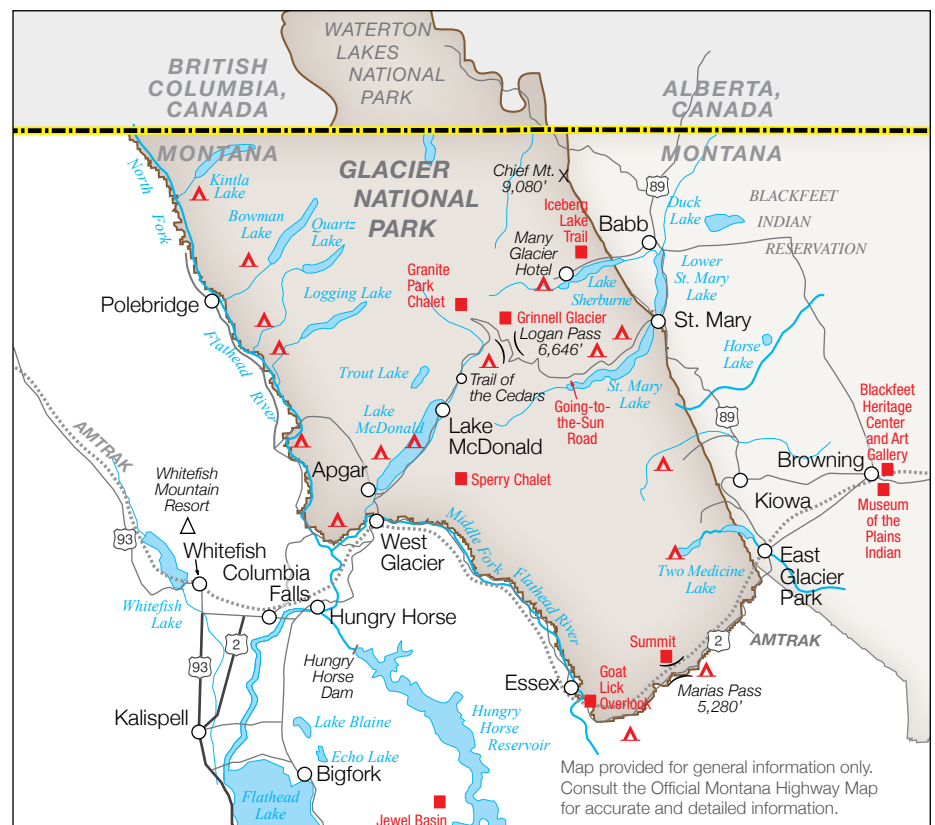
+ 設立: 1910年5月11日設立

+ 面積: およそ4,092平方キロメートル (410,186ヘクタール)

+ ハイキング・トレイル: 1,126キロメートル以上

+ 260種類の鳥

+ 70種類の哺乳動物 (マウンテンゴート、グリズリー、ブラックベアなど)



グレイシャーエリアの夏の旅行プラン

グレイシャー国立公園とその周辺にはきわめて多くの見どころがあり、すべてをリストアップすることは不可能です。www.visitmt.com/glac、www.crownofthecontinent.net、www.nps.gov/glacで旅のアイデアをご紹介しますので、プランを立てる参考にして下さい。



Going-to-the-Sun Road (Donnie Sexton)



Lake McDonald (Donnie Sexton)



Young mountain goat (Donnie Sexton)

1日観光

+ 1日かけて最も人気の高い名所めぐりましょう。

- アンティーク・レッド・バスで絶景の楽しめるゴーイング・トゥ・ザ・サン・ロードを走ります。
- サン・ツアーズ (Sun Tours) 社が主催するイースト・グレイシャー・パーク (East Glacier Park) 発のツアーでは、ブラックフィート族の視点から公園の景色をお楽しみ頂けます。
- ハイキング、記念撮影、思い出づくりにはトレイル散策がお勧めです。
- ボートクルーズに参加し、マクドナルド湖やセントメアリー湖 (St. Mary Lake) の静かな湖面を滑るように進んでみませんか。

+ ホワイトフィッシュ (Whitefish) で1日過ごすのもよいでしょう。タウンタウンの散策、ホワイトフィッシュ・トレイル (Whitefish Trail) でのハイキングやサイクリングの他、ホワイトフィッシュ・マウンテン・リゾート (Whitefish Mountain Resort) ではゴルフなどが楽しめます。

+ ブラウニング (Browning) には、ブラックフィート族の居留地やブラックフィート・ヘリテージ・センター&アート・ギャラリー (Blackfeet Heritage Center and Art Gallery)、ブレインズ・インディアン博物館 (Museum of the Plains Indian) があります。ロッジポール・ギャラリー (Lodgepole Gallery) やティピ・ビレッジ (Tipi Village) では、ティピ (テント) に宿泊したり、ブラックフィート族の伝統料理をお楽しみ頂けます。

+ カリスペルのグレート・ノーザン・ヒストリカル・トレイル (Great Northern Historical Trail) ではサイクリングができます。

+ カヤックでフラットヘッド湖からワイルドホース・アイランド (Wild Horse Island) まで行くと、野生の馬を見ることができます。

2泊3日の旅

+ 1日目はフラットヘッド湖でゴルフやフィッシングを楽しみ、午後はブルワリー (ビール醸造所) ツアー (visitmt.com/brewerytour) へ出かけましょう。カリスペルまたはホワイトフィッシュに宿泊し、郷土料理の朝食をお楽しみ下さい。2日目はグレイシャーに入ってゴーイング・トゥ・ザ・サン・ロードをドライブし、ローガン・パス (Logan Pass) に立ち寄って野生動物や見事な景観をお楽しみ下さい。セント・メアリー湖 (St. Mary Lake) でのサンセット・クルーズで1日を締めくくりましょう。3日目はイースト・グレイシャー (East Glacier) を訪れ、国道2号線を通って戻ります。フラットヘッド川 (Flathead River) のミドルフォーク (Middle Fork) で川下りを楽しみ、ゴート・リック・オーバーLOOK (Goat Lick Overlook) の断崖に生息するマウンテンゴートを眺めましょう。長い歴史を誇るエセックス (Essex) のアイザック・ウォルトン・イン (Izaak Walton Inn) で休憩します。

+ 未舗装の道や質素な暮らしを好む方には、公園内のノースフォーク (North Fork) エリアで3日間過ごすことをお勧めします。ポールブリッジ (Polebridge) という小さな集落には、土産物店、酒場、ガス灯のともるキャビン、そして最高のベーカリーがあります。フラットヘッド川 (Flathead River) ノースフォークでの川下りやフィッシング、森でのサイクリング、ボウマン湖 (Bowman Lake) やニューマ・リッジ (Numa Ridge) 周辺でのハイキング、険しく切り立ったグレイシャー・ビュー (Glacier View) のビューポイント登頂などいかがでしょう。ラフトやパドルボード、自転車はレンタル可能です。

+ ゴーイング・トゥ・ザ・サン・ロードを通して、グレイシャーの急な坂を上っていけば、ハイキングやサイクリングに来た人だけが楽しめる景観が広がっています。サイクリングに関するガイドラインや規定については nps.gov/glac. をご覧下さい。

4泊5日の旅

+ 1日目はトゥー・メディスン湖 (Two Medicine Lake) でフィッシングを楽しみましょう。シーニック・ポイント・トレイル (Scenic Point Trail) でハイキングをした後は、歴史あるグレイシャー・パーク・ロッジ (Glacier Park Lodge) で体を休めるとよいでしょう。2日目は、バブ (Babb) を通って公園に入ります。往復16キロメートルのハイキングでは、氷に覆われたターコイズブルーの水をたたえるアイスバーグ湖 (Iceberg Lake) を訪れ、風格に満ちた歴史あるメニー・グレイシャー・ホテル (Many Glacier Hotel) で休憩をとります。3日目は、セントメアリー湖まで戻ってボートに乗り、ビジターセンターでネイティブアメリカンの展示を見学し、セントメアリー滝 (St. Mary Falls) まで散策します。4日目は、ローガン・パスを出発してハイライン・トレイル (Highline Trail) 制覇へ向かい、ガーデン・ウォール (Garden Wall) に沿って高地を縦断しましょう。12キロメートルのハイキングの後には、公園内でキャンプをするか、さらに6キロメートル先のローガン・パスからシャトルバスに乗ります。5日目は、トレイル・オブ・ザ・シーダーズ (Trail of the Cedars) をのんびりと散策し、マクドナルド湖畔でピクニックを楽しみます。旅の最後はフラットヘッド川でのガイド付きラフティングツアーに参加し、ベルトン・シャレー (Belton Chalet) ホテルのディナーで締めくくりましょう。

+ グレイシャーのバックカントリー探検では、公園内にある1,126キロメートル以上に及ぶハイキング・トレイルをお楽しみ頂けます。バックカントリーに許可なく入ることはできず、各種規則に関する情報を得ておくことが必要です。秘境でのバックパッキング経験が浅い方は、ガイドを雇って同行してもらうか、コースを計画してもらうこともできます。

イエローストーン国立公園エリア

イエローストーンは、世界で初めて設立された全米最大の国立公園の一つです。夜明けと共に、手つかずの自然が残るこの地に生息するクマやバイソン、エルク、オオカミを遠くから見るができます。しかし手つかずの自然とは言っても、その光景は退屈なものではありません。盛大に蒸気を噴き上げる間欠泉や鮮やかな色彩を放つ温泉プールだけでなく、泥の池でさえぶくぶくと沸き立っているのです。

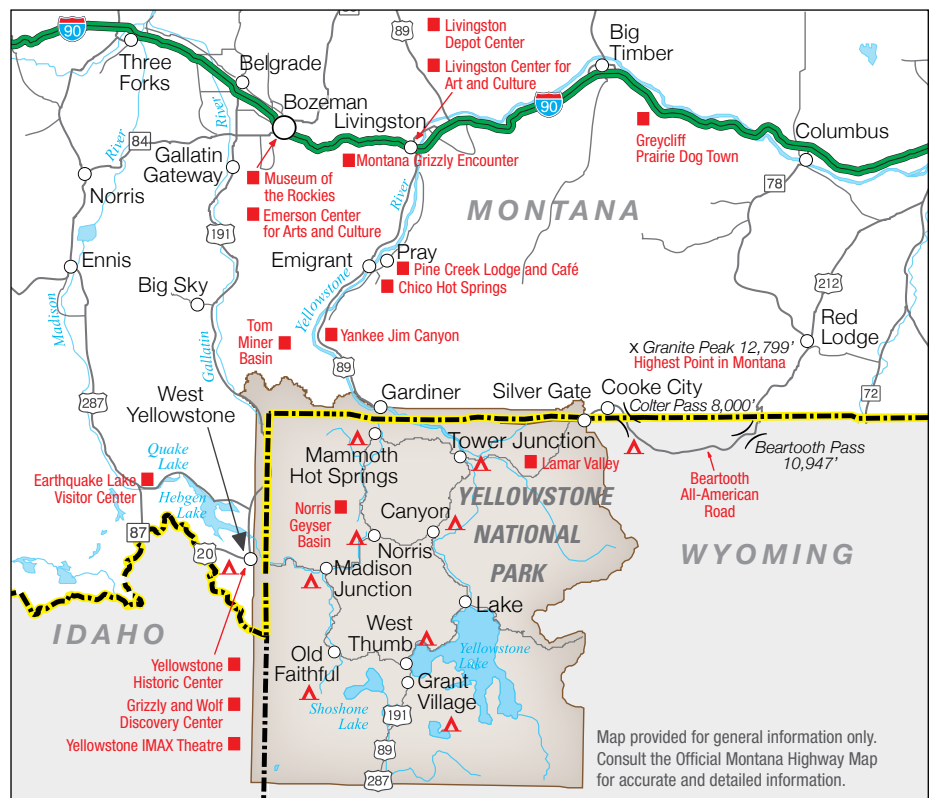
イエローストーンには時代を超えた素晴らしさがあります。136年前の開設以来、ほとんど変わることのないこの公園は、観光客の期待を裏切りません。壮麗な間欠泉や雷鳴のような轟音をとどろかせる滝、澄み渡る湖、パノラマ景観などは、イエローストーン国立公園でしか見るできません。



Yellowstone National Park (Donnie Sexton)

モンタナにはイエローストーン国立公園への入口が、ウエスト・イエローストーン、ガーディナー、クーク・シティの3カ所あります。野生動物を見るには、「アメリカのセレンゲティ」と呼ばれるラマー・バレー (Lamar Valley) を通って、バスか車でお越し下さい。イエローストーンのグランド・キャニオンで岩山のクレバスをハイキングすれば、自然のままの滝が遠くに見えるでしょう。最後はオールド・フェイスフル (Old Faithful) の間欠泉の驚異を体験しましょう。何が起きても見逃さないよう、目をしっかりと開けていて下さい。詳細はvisitmt.com/yellをご覧ください。

イエローストーン国立公園は年中営業していますが、11月から5月の再オープンまでは、園内道路の多くが通行止めとなります(雪上車を除く)。春のサイクリングや主なアトラクション、入園料等の詳細はnps.gov/yellをご覧ください。



イエローストーン国立公園について

- + 設立: 1872年3月1日設立
- + 面積: 8,992平方キロメートル (899,116ヘクタール)
- + バックカントリー・トレイル: 1,528キロメートル
- + 60種類以上の哺乳動物 (グリズリーベア、オオカミ、バイソンなど)
- + 1万カ所以上で見られる地熱活動

Map provided for general information only. Consult the Official Montana Highway Map for accurate and detailed information.

イエローストーンエリアの夏の旅行プラン

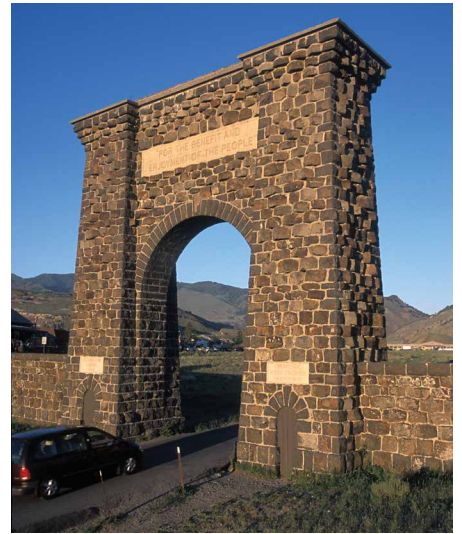
ガイドブックでは、イエローストーン国立公園で楽しめる冒険をすべて案内することができませんので、ここで旅のヒントとなるアイデアをいくつかご紹介しましょう。さらに詳しくご覧になりたい方はwww.visitmt.com/yell、www.visitmt.com/gyr、www.nps.gov/yellをご覧ください。



Bison (Donnie Sexton)



Beartooth All American Road (Donnie Sexton)



Roosevelt Arch, Gardiner (Donnie Sexton)

1日観光

- + 典型的なイエローストーンの日帰りツアーなら、ウエスト・イエローストーンかガーディナーから公園に入り、オールド・フェイスフル湖、キャニオン、ノリス・ガイザー・ベイスン (Norris Geyser Basin) を車で周遊するとよいでしょう。
- イエローストーン名所のオールド・フェイスフル間欠泉は必見です。
- ラマー・バレーでバイソンやアンテロープ、あるいはオオカミに望遠レンズを向けてみましょう。
- ディナーとキャンピング宿泊には、シルバー・ゲイト (Silver Gate) やクーク・シティがお勧めです。
- + ボーズマンのダウンタウンでは、1日かけてロッキーズ博物館 (Museum of the Rockies) やエマーソン・センター・フォー・アーツ&カルチャー (Emerson Center for Arts and Culture) を見学するとよいでしょう。またこのエリアには探索のできるトレイルがたくさんあります。
- + 創造性豊かなカウボーイの町、リビングストーンでは買い物やギャラリーめぐりが楽しめます。デポ・センター (Depot Center) やリビングストーン・センター・フォー・アート&カルチャー (Livingston Center for Art and Culture) に立ち寄ってみましょう。
- + 1959年の地震でおよそ7,200万トンの岩が動いたというクエイク湖 (Quake Lake) があります。
- + 絶景が見事なベアトゥース・オール・アメリカン・ロードのドライブもお勧めです。
- + ギャラティン川 (Gallatin River) やイエローストーン川 (Yellowstone River) の急流では、ラフティングができます。
- + 手つかずの自然が残る川や湖、小川で釣りを楽しみましょう。
- + ビッグスカイ (Big Sky) でマウンテンバイクやハイキング、ジップラインを楽しみましょう。

2泊3日の旅

- + 1日目は、車でウエスト・イエローストーンを出発してノリス・ガイザー・ベイスン (Norris Geyser Basin) へ向かい、ファウンテン・ペイント・ポッツ (Fountain Paint Pots) やローン・スター・ガイザー (Lone Star Geyser) を訪れ、グラント・ビレッジ (Grant Village) に宿泊します。2日目は、イエローストーン湖でボートクルーズに参加し、ハイドン・バレー (Hayden Valley) で野生動物の姿を眺め、キャニオン・ビレッジ (Canyon Village) でキャンプをします。3日目は、イエローストーンのグランド・キャニオンや滝で見事な絶景を楽しみ、クーク・シティかガーディナー、またはウエスト・イエローストーンから公園の外に出ます。
- + レッド・ロッジで焼き菓子やショッピングを楽しんだ後、景観の美しいベアトゥース・オール・アメリカン・ロードを通過して風光明媚な高地の高原へ向かいます。キャンプ場の受付を済ませ、世界有数のトレイルでハイキングを楽しんでからキャンプに戻ります。2日目は、モーニングハイクの後に西へ下山し、クレイジー・クリーク (Crazy Creek) に立ち寄って美しい景観を堪能します。日没までに宿泊地のクーク・シティに到着しましょう。3日目は、イエローストーンに入って絶景を楽しめる周遊ツアーに参加します。
- + ボーズマンでは、朝はハイキング、午後はギャラリーめぐり、夜はコンサートや観劇を楽しめます。2日目は、車でリビングストーンまで出向いてショッピングと食事をした後、モンタナ・グリズリー・エンカウンター (Montana Grizzly Encounter) に立ち寄ります。そのまま南へ進み、長い歴史を誇るチコ・ホット・スプリングス (Chico Hot Springs) に泊まります。3日目は、ガーディナー経由でイエローストーンに入り、1日かけて観光を満喫しましょう。

4泊5日の旅

- + 1日目は、ギャラティン・ゲートウェイ (Gallatin Gateway) で朝食をとり、車で南へ進みギャラティン・キャニオン (Gallatin Canyon) の景観を楽しみます。ハイキングやフィッシング、急流でのラフティング、ロッククライミングなどを楽しんだ後は、ビッグスカイで夕食をとり、ブルワリーを訪問します。2日目は、ビッグスカイでレンタサイクルや素晴らしい景観を満喫できるチェアリフト、ジップライン、ゴルフを楽しむ他、温泉でゆっくり休むこともできます。3日目は、早朝に車でウエスト・イエローストーンに向かい、イエローストーン・ヒストリック・センター (Yellowstone Historic Center) やイエローストーン・イマックスシアター (Yellowstone Imax Theatre)、グリズリー&ウルフ・ディスカバリー・センターで園内ツアーに備えて情報を得ておきましょう。4日目と5日目には公園探索を楽しみ、天然の温泉が流れ込むボイリング・リバー (Boiling River) に浸かって旅の最後を締めくくりましょう。
- + 5日間かけてグレイター・イエローストーン (Greater Yellowstone) エリアやイエローストーン国立公園、あるいはエリア内の国有林でバックパッキングを楽しみましょう。エリアによっては許可なくバックカントリーに立ち入ることはできませんので、パークレンジャー本部やビジターセンターに立ち寄って詳細を確認して下さい。

トラベラー・サービス

モンタナへ行く用意はできているけれど、わからないことばかり。現地に電車は走っているの？ 国立公園は営業しているの？ スキー場へのバスはあるの？ 下記のトラベラー・サービスの情報をご覧ください。旅の準備を整えて下さい。

モンタナのオンライン情報

iPadや携帯電話を使って、オンライン上でモンタナの旅を計画してみましょう。

Facebook
www.facebook.com/visitmontana

Twitter
www.twitter.com/visitmontana

モンタナに関するさまざまな知識を得ることのできる便利な情報サイトVisitMT.comには、旅を楽しむためのアイデアやモンタナ旅行の魅力が満載です。サイクリングのルートやモンタナ全域で開催されるパウワウのガイド、ブルワリー・トレイル情報、ゴーストタウンの概要など、多様な情報をご覧ください。

m.visitmt.com
旅の途中で温泉やカフェ、人気のスポットに立ち寄りたくなったら、スマートフォンでM.VisitMT.comにアクセスしてみましょう。M.VisitMT.comとは、ホテルのリスト、さまざまなアクティビティ、トラベラー・サービスを携帯電話のインターフェイスの中でコンパクトにまとめたものとお考え下さい。

モンタナのiPadマガジン
iPadアプリ

モンタナのまさに「すべて」を詰め込んだのがこのマガジンです。特集記事やフォトエッセイ、短い補足記事を通じて、地元住民と出会い、脇道にある穴場レストランの情報を知り、モンタナの歴史にふれることができます。地元で話題の情報を得ることによって、モンタナへの旅がさらに素晴らしいものになることはありません。

<http://magazine.getlostmt.com>

GETLOSTMT.COM
モンタナに最も詳しいのは地元住民です。このウェブサイトでは、モンタナの住民が紹介するおいしい店や人気のある宿泊先、プレイスポットが画面上の地図をクリックするだけで表示されます。長めの週末休暇や数泊の旅行でも、これらのお勧めスポットをめぐることができるよう、コンパクトなプランが用意されています。スマートフォンにアプリをダウンロードするか、GetLostMT.comにアクセスして、ガイドブックには載っていない穴場の店や観光スポットを見つけて下さい。



Cowboy accommodations (Donnie Sexton)

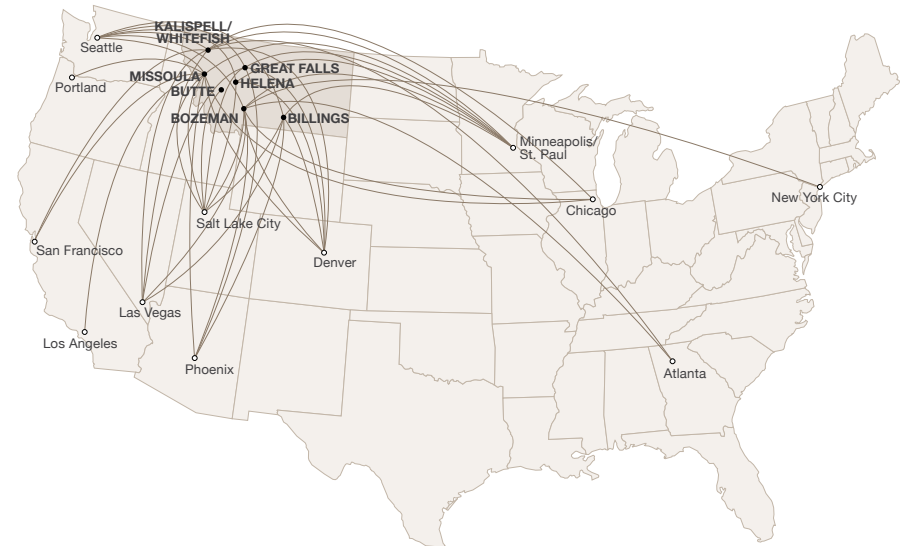
モンタナまでのアクセス

比較的大きな都市には空港があり、州の中央より北へは電車で移動できます。到着地からは、レンタカーでどこでもお好きな場所へ行くことが可能です。モンタナ探索では車が最も楽な移動手段になりますので、車以外の交通手段で来られる方は、到着時にレンタカーを借りる計画を立てておくとよいでしょう。砂利道や未舗装の道路、冬季の運転には、四輪駆動車をお勧めします。車高の高いハイクリアランス・カーは、最も奥深い辺境地へ行かない限り必要ありません。

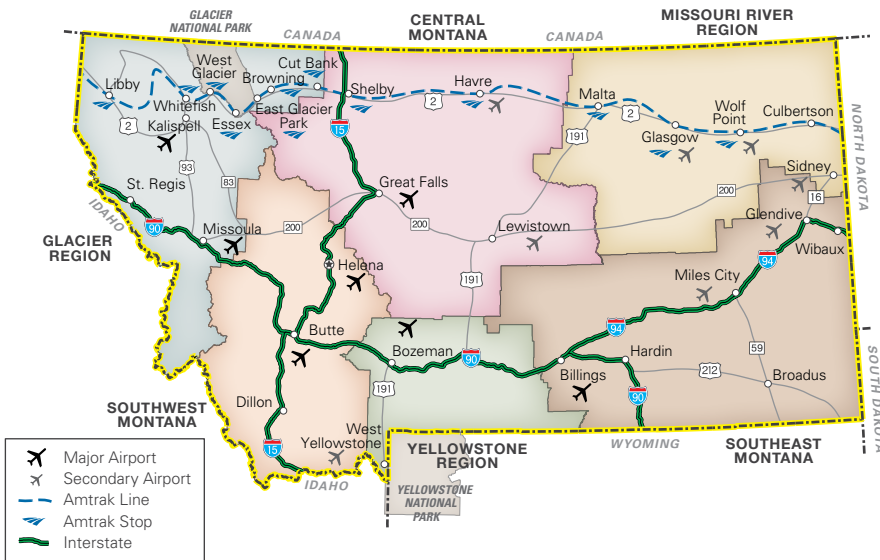
空の旅: シアトル、サンフランシスコ、ロサンゼルス、ラスベガス、ソルトレークシティ、フェニックス、デンバー、ミネアポリス・セントポール、シカゴ、ポートランド、アトランタからは直行便が出ています（一部は季節運航）。空港・航空会社の一覧は visitmt.com/transportation/Air_Service をご覧ください。

鉄道の旅: モンタナ北部では、ウルフ・ポイント (Wolf Point) からハーバー (Havre) やグレーシャー国立公園を経由し、リビー (Libby) までアムトラック (Amtrak) のエンパイア・ビルダー (Empire Builder) 号が走っています。天井がガラス張りになった展望列車で美しい景観をお楽しみ下さい。 www.amtrak.com

パスポートに関する要件: 米国に入国・再入国するすべての旅行者には、パスポートまたはそれに代わる有効な渡航証の提示が義務付けられています。最新の情報は cbp.gov をご覧ください。



飛行は、季節の変更されることがあります。便と時刻表のための航空会社に確認してください。



は、地質学的・古生物学的な観光名所に関する情報を提供するものです。詳細についてはビジターセンターでパンフレットを配布中です。www.mathscience.mt.gov

モンタナの国有地

モンタナ州天然資源・保全省 (DNRC: Department of Natural Resources and Conservation) は、国有地から得られる天然資源や利益の管理、サステナビリティ、拡充を担当しています。

国有地でのハンティングやフィッシング、トラッピング、スノーモービルなどの電動車両の使用には、ライセンスや規制が設けられています。国有地でのこうしたアクティビティに適用される規定や制限に関しては、フィッシュ・ワイルドライフ&パークス (FWP: Fish, Wildlife & Parks) やライセンスエージェント、天然資源・保全省 (DNRC) で詳細を記したパンフレットを配布中です。

+ モンタナ州天然資源・保全省
+1.406.444.2074 www.dnrc.mt.gov

+ モンタナ州フィッシュ・ワイルドライフ&パークス

+1.406.444.2535

TDD (聴覚障害者用電話) :
+1.406.444.1200
www.fwp.mt.gov

旅行に関する情報の詳細はvisitmt.com/traveler_services をご覧下さい。

モンタナの旅

モンタナでのドライブ

モンタナのハイウェイは1年を通じて維持管理されており、気候の良い季節に幹線道路を走る分には何も問題はありません。しかし、長距離移動や人里離れたエリア、さまざまな道路のコンディション、険しい峠、部分的な対面通行に対応できるよう準備が必要です。嵐に巻き込まれることもありますし、野生動物や家畜、農機具、除雪車と路上で遭遇する可能性もありますので、注意を怠らないようにして下さい。制限速度の掲示はありますが、雪や氷、大雨、霧、暴風への警戒が必要な場合はスピードを落として下さい。

モンタナはとても広く、東西を横切る最短ルートでも車で10時間以上かかります。グレーシャー国立公園の南エントランスからイエローストーン国立公園の北エントランスへの移動時間は7時間以上です。町と町が遠く離れていることも多く、ガソリンスタンドなどが常に開いているとは限りませんので、ガソリントankは常に残量が半分以上になるようにし、水や軽食を用意しておきましょう。

地形や標高、気候がきわめて多様なため、季節を問わず、予期せぬ天候の変化が起きることがあります。モンタナ全域のビジターセンターでは、5月から9月まで道路と天候に関する情報を提供しています(ウエスト・イエローストーンでは1年を通じて情報を提供)。モンタナ住民のほとんどは、たとえ夏であっても、急激な天候の変化に備えて暖かい上着を常に常備しています。

レンタカー モンタナを訪れる旅行者の多くは、融通がききやすく自由に行動できる車の旅を選びます。旅程や同行者に合わせて、さまざまな車種をお選び頂けます。レンタカーを利用できる町の一覧はvisitmt.com/carrentals をご覧下さい。

タウン情報 比較的大きな町では路線バスが運行されている他、主要な空港の近郊では、数は多くありませんがタクシーやシャトルバスも利用できます。天気が良ければ、現地のアウトドアショップでレンタサイクルを借り、町の中を移動することも可能です。

ドライブ情報

511番に電話すれば、モンタナの道路状況や最新情報、各種規制、天気予報の24時間情報サービスを利用することができます (+1.800.226.ROAD (7623) または TTY +1.800.335.7592 でも利用可。mdt511.comでも情報提供中)。

障害を持つ旅行者の支援を行うモンタナ・インディペンデント・リビング・プロジェクト (Montana Independent Living Project) (+1.406.442.5755またはmilp.us) では、モンタナまでのアクセスに関する情報を提供しています。

観光名所の案内標識

モンタナの道路には、観光名所の案内標識が50カ所以上設置されています。こうした標識

CLIMATE SUMMARY WWW.VISITMT.COM/CLIMATESUMMARY						
City/Town	January Average Max Temperature (°C)	January Average Min Temperature (°C)	July Average Max Temperature (°C)	July Average Min Temperature (°C)	September Average Max Temperature (°C)	September Average Min Temperature (°C)
Big Sky	-1°	-13°	26°	4°	20°	0°
Billings	1°	-10°	30°	14°	22°	8°
Bozeman	-1°	-11°	27°	11°	21°	4°
Butte	-1°	-14°	27°	8°	19°	3°
East Glacier	0°	-11°	23°	7°	16°	1°
Fort Peck	-4°	-16°	31°	14°	23°	10°
Glasgow	-6°	-17°	29°	14°	21°	6°
Great Falls	1°	-10°	29°	13°	21°	6°
Helena	-1°	-12°	28°	12°	20°	5°
Kalispell	-2°	-10°	28°	10°	20°	5°
Miles City	-3°	-14°	32°	16°	24°	7°
Missoula	-1°	-9°	29°	10°	21°	4°
Red Lodge	1°	-12°	26°	10°	18°	4°
West Glacier	-2°	-9°	27°	8°	18°	4°
West Yellowstone	-4°	-18°	26°	4°	18°	-1°
Whitefish	-1°	-9°	27°	10°	21°	4°



MONTANA OFFICE OF TOURISM, DEPARTMENT OF COMMERCE · visitmt.com

301 South Park Avenue · PO Box 200533 · Helena, MT 59620-0533 · +1.406.841.2870

Please note: the Montana Office of Tourism is not a regulatory agency and therefore has no authority to inspect the businesses mentioned in this guide. Every effort has been made to ensure the accuracy of the content but changes sometimes occur after the publication is printed. The Montana Office of Tourism cannot be held liable in the event of errors. The use of names of private companies in the publication is for reader information only and does not imply endorsement by any state or federal agency.



Printed on recycled paper. FOR FREE DISTRIBUTION ©2013 Montana Office of Tourism